

# 愛顔つなぐえひめ大会と 愛媛のパラスポーツ

研究員 安井 良吾

第17回全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）が、平成29年10月28日～30日まで愛媛県で開催されます。この大会は平成13年に全国身体障害者スポーツ大会と全国的障害者スポーツ大会が統合されて以降、国体とともに全国で開催されてきました。この大会への参加申込は、既に全国から5701人に達しており、愛媛県選手団も選手・役員あわせて445名が個人種目6競技、団体種目7競技に参加します。

開催される競技は、個人種目には、身体障がいのある選手と知的障がいのある選手が出場する、陸上競技、水泳、卓球、フライングディスク、身体障がいのある選手が出場するアーチェリー、知的障がいのある選手が出場するボウリングがあります。



フットベースボール

団体競技は、知的障がいのある選手が競技するバスケットボール、ソフトボール、サッカー、フットベースボール、身体障がいのある選手が競技する車いすバスケットボール、視覚障がいのある選手が競技するグランドソフトボール、身体（聴覚）障がい、知的障がい、精神障がいのある選手が出場するバレーボールがあります。

愛媛県は開催県として全種目出場枠があるため、団体競技では、グランドソフトボールのように30年以上の競技歴のあるクラブが出場するとともに、バスケットボールやバレーボールのように特別支援学校が中心となって出場を目指して新たに結成され出場するチームもあり、各選手、各チームとも大会での活躍を目指して、一生懸命練習に取り組んでいます。

このような大会への出場を支援しているのが、愛媛県障がい者スポーツ協会です。



車いすバスケットボール

愛媛県障がい者スポーツ協会は、「第17回全国障害者スポーツ大会」に向けて、広く関係団体と連携を図りながら、障がい者スポーツのさらなる振興を図るために平成25年に設立され、主に次の3つの事業を実施しています。

①パラスポーツ（障がい者スポーツ）の理解促進や普及啓発のための体験会や拠点整備事業の実施、指導者の養成 ②愛媛県障がい者スポーツ大会の開催や全国障害者スポーツ大会への選手団派遣・強化事業（3年前からはタンDEMサイクリング大会の開催によるパイロットの養成なども行っています） ③パラアスリート支援として、パラトップアスリート支援事業、障がい者サポーターバンクの運営、障害者コーディネーターによる企業とアスリートをつなぐマッチング事業。

パラアスリート支援事業では、パラアスリートのレベルアップを図り、愛媛県からの2020東京パラリンピック等への出場を目指しています。

愛顔つなぐえひめ大会の開催を通じて、パラスポーツの理解や普及が進むことが期待されています。皆さんも観戦してみませんか。